



# 吹田市

# 景観

# デザインマニュアル

## 工作物



A-1  
フロローグ

A-2  
ものづくり

A-3  
まちなみづくり

A-4  
敷地デザイン

A-5  
色

B-1  
建築物①住居系用途

B-2  
建築物②商業・工業系用途

B-3  
工作物

B-4  
開発行為・公共空間

B-5  
屋外広告物

# 工作物は景観の重要な要素

機能を満たすだけでなく、地域のまちなみと調和するようなデザインとしましょう。

## 1. 周辺と調和させましょう

### (a) 敷地の条件、建物の特性をいかし、ゆとりや広がり確保する

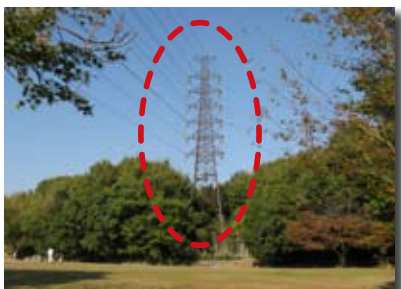


擁壁の位置を少し後退させて植栽を設けています。



駐車しやすいように工夫すると同時にゆとり空間を設けています。

### (b) 周辺のまちなみや建物と調和する色彩を使用する



樹木の多い場所には茶系などの色彩を。



電柱

敷際の植栽帯には低彩度の色彩を。

### (c) 維持管理を考慮した素材を用いる



けんちいし  
間知石

間知石は息の長い素材。



汚れの付きにくいホーロー素材を用いています。

## Column

### 歴史を活かしたデザイン「高浜橋」

「吹田の渡し」があった高浜橋の界隈は、白砂青松の風光明媚な場所と、古い和歌に詠まれ、美しい水辺の景色が広がっていたと伝わっています。地域の歴史をもとに、松の葉をイメージして、橋の欄干やさくがデザインされています。



## 2. 圧迫感を低減させる

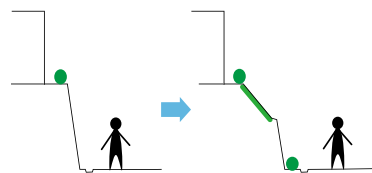
### (a) 素材、形態、色彩などを工夫する



緑化ブロックを用いています。



形状や高さ、植栽などをうまく工夫しています。



### (b) 周辺に緑化を施す



機械式立体駐車場を植栽で見えにくくしています。



歩道橋の欄干にプランターを並べ、彩りを演出しています。

## 3. 控えめな色を使用する



舗装材と調和する色彩の歩道橋。



シックな色の立体駐車場で建物に調和しています。



橋脚を低彩度の色彩にして周辺になじませています。



グレー色で目立ちにくい立体駐車場。

A-5 景観まちづくりと色も合わせて参考にしましょう。

# よりよい景観まちづくりにむけて

## (1) 屋上工作物は「B-1建築物①住居系用途地域」「B-2建築物②商業系・工業系用途地域」も参考にしましょう。

建物の屋上に設置する高架水槽やアンテナなどについては、建築物と調和するデザインを心がけましょう。



壁面と同様の仕上げで見えにくくしています。



ルーバーで見えにくくしています。

## (2) 開発行為に付随する擁壁は「B-4 開発行為・公共空間」も参考にしましょう

まちなみの基礎となる重要な要素です。景観まちづくりを強く意識して、工夫しましょう。

通りを眺めても安らぎが感じられる。



擁壁前に植栽スペースを設け、地域へのつながりとなっています。



法面として整備するとうるおい豊かなまちになります。

## (3) 鉄塔・煙突・プラント等の高さを有するものは、「B-1建築物①住居系用途地域」「B-2建築物②商業系・工業系用途地域」も参考にしましょう

高さを有して、周囲から突出して見えるものは建築物と同様に、よりきめ細やかな配慮が望まれます。



運動施設のRC柱などは、地域の特性に応じて色彩などに配慮しましょう。



銭湯の煙突などは昔から見られる景観ですが、周囲からの見え方を考慮しましょう。